

# ○ 湊 浩 二 郎

( 2 0 分)

【一括方式】

## 1 クルーズ船誘致の取組について

佐世保港が官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾に選定され、当初の計画では、三浦岸壁に加えて令和2年4月に浦頭岸壁の供用が始まり、多くのクルーズ船が入港し、海外からの観光客も見込まれたことから、多くの佐世保市民も関心を寄せていました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、特に横浜港に停泊のダイヤモンドプリンセス号船内での感染が大きくマスコミに報道されたことにより、いまだ浦頭岸壁には一隻も入港できず、現在に至っております。

一方、三浦岸壁も同様な状況でありましたが、10月26日に日本の船社のクルーズ船「日本丸」を受入れ、200名近くの日本人観光客が佐世保市を訪れました。このことはコロナ禍において日本初の試みでありました。

三浦岸壁におけるクルーズ船の寄港回数としては、2017年が84隻、2018年が108隻、2019年が79隻と全国で8～10位でしたが、日本の船社はそのうちのそれぞれ2隻、3隻、2隻とわずかしかなかったと見られます。このことを踏まえ、今後、国内にも目を向けクルーズ船誘致に取り組むべきだと考えますが、御所見をお伺いします。

〔市 長〕

## 2 九十九島観光公園について

令和2年6月定例会において、九十九島観光公園の進捗状況については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、予定していた民間事業者の参画が厳しい状況であるとの説明がありました。

この九十九島観光公園の整備計画は、当初、クルーズ船客を見込んでの開発と聞き及んでいましたが、コロナ禍により計画変更を余儀なくされたものと考えます。企業経済委員会で報告があった森きらら移転問題も含め今後の計画について、御所見をお伺いします。

〔市 長〕

# ○ 小 田 徳 顕 (10分)

【一括方式】

## 1 新型コロナウイルス感染症について

- 全国各地で感染者が急増する中、本市の検査体制の現状と方針を問う。

〔市 長〕

## 2 学校再編について

- コロナ禍の下で少人数学級の実現が注目されている。一方、本市においては学校再編について地域での説明会も始められている。学校再編について本市の見解を問う。

〔教 育 長〕

## 3 石木ダム建設事業について

- 土地収用法に基づき、県と市が取得した家や土地の明渡し期限から1年が経過した。改めて、石木ダム建設事業について本市の見解を問う。

〔市 長〕  
〔水 道 局 長〕

## 4 核兵器禁止条約について

- 核兵器の保有や使用を全面的に禁じる核兵器禁止条約が、本年10月25日に発効に必要な50か国・地域の批准に達した。核兵器禁止条約についての見解を問う。

〔市 長〕

# ○ 北 野 正 徳 (20分)

【一括方式】

## 1 持続可能な地域公共交通の在り方について

平成31年3月24日からバス運行体制は西肥バスへ一体化され、一部のバス路線は西肥バスからさせぼバスへ人件費相当額で委託されることとなった。させぼバスは運転士不足を交通局退職者に頼ることとなり、その人件費不足の補充に駐車場収入を充てる、これが大まかなスキームである。地域公共交通を担うバス運転士は一体化の後も西肥バス、させぼバス、交通局退職者の三つの雇用形態になり、今後、運転士の確保をどのように考えているのか。また、現在のスキームが持続可能であるのかを問う。

〔市 長〕

## 2 新道建設と地場企業の生産性向上のための工業団地造成による道路混雑解消について

小佐々町の旧工業団地・新工業団地（ウエストテクノ）に至る県道の交通渋滞については随時対策が講じられ、渋滞の解消には至らないものの、現状ほぼ完了形と思われるが、どのように認識しているのか。抜本的な対策としては、佐々川右岸県道から山間を経由してウエストテクノに至るバイパス道の新設しかないと思われる。当該地付近には通称長田池があり、新道建設に伴う掘削土をもって長田池を造成し、地場企業の高度化のための分譲地としてはいかがか。両事業を効果的に組み合わせることにより公共事業に伴う費用対効果が飛躍的に向上する。見解を問う。

〔市 長〕

○ 小野原 茂

(20分)

【一括方式】

- 1 令和2年度日野川流域の日野・椎木地区における豪雨対応について
  - 日野川流域の日野・椎木地区における内水対策について

〔市 長〕

- 2 島瀬美術センターの指定管理化について
  - 島瀬美術センターの収蔵庫の整理状況について
  - 島瀬美術センターの専門性向上策について

〔市 長〕

# ○ 鶴 大 地

( 2 0 分)

【一括方式】

1 「デジタルトランスフォーメーション (DX)」について

2004年に「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」と定義され初出したデジタルトランスフォーメーションという考えは、時が経ち現在、政府における「デジタル庁」新設の動きや、本市における「デジタル・ガバメント準備室」や「スマート・スクール・SASEBO推進室」の新設につながっていると考えます。そこで、DXがもたらす市内経済活性化に着眼してお伺いします。

〔市 長〕

2 「空き家等対策」について

空き家等の適正な管理及び活用に向けた対策を実施する中で、本市における現状と課題、これからの展望についてお伺いします。

〔市 長〕

○ 橋之口 裕太

(20分)

【一括方式】

1 地域包括支援センターについて

○ 地域包括支援センターの課題と市の関わりについて伺います。

〔市 長〕

2 指定ごみ袋制度の運用見直しについて

○ 指定ごみ袋制度の運用見直しについて伺います。

〔市 長〕

3 犯罪被害者支援条例制定後の取組について

○ 犯罪被害者支援条例制定後の取組について伺います。

〔市 教 育 長〕